

連携室だより

号外

2018.07

医療法人社団 曙会
佐々木外科病院
地域医療連携室

地域包括ケア病床(10床)転換しました

当院は、これまで急性期一般病床54床(うち開放病床6床)で運営しておりましたが、急性期治療後のリハビリ・在宅復帰に向けた医療や支援を行なうため、平成30年7月より、病床の一部を「地域包括ケア病床」に転換いたしました。これにより当院の病床は、次のとおりとなります。

急性期一般病床 44床(うち開放病床6床)、地域包括ケア病床 10床

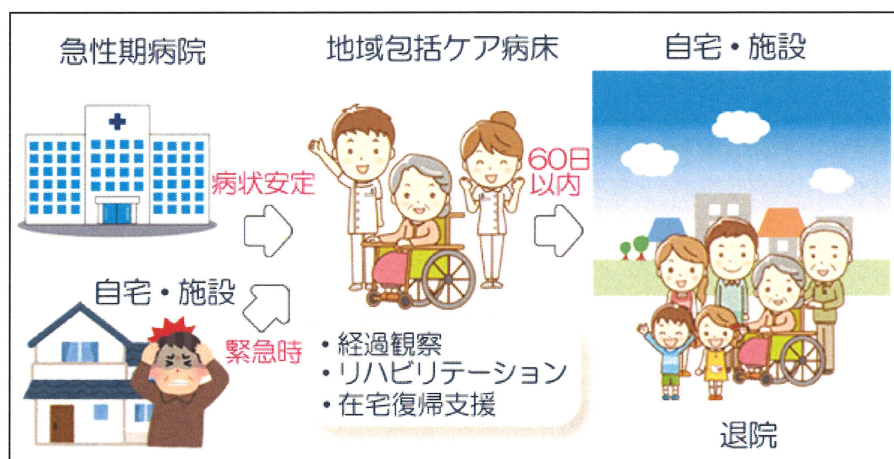
地域包括ケア病床は、急性期治療を経過し病状が安定した患者様に対して、在宅(自宅や介護施設等での生活)への復帰支援に向けた医療や支援を行なう病床です。急性期一般病床では、症状が安定すると早期に退院となりますが、在宅での療養に不安があり、もう少しの入院治療で社会復帰・在宅復帰できる患者様には、「地域包括ケア病床」に入院していただき安心して退院できるように支援していきます。退院は、ご自宅またはサービス付き高齢者向け住宅などの施設への入所が原則となります。入院期間は状況に応じて調整いたしますが最長60日となります。

急性期一般病床は、これまで通り、手術や精査、急性期治療が必要な患者様を中心に入院加療を行ないますのでご紹介、お問い合わせください。開放病床6床は継続して運営します。

地域包括ケア病床には、以下のような患者様の入院が想定されます。

- 当院一般病床に入院した患者様が在宅復帰に向けてリハビリ等を行なうために転床
→主治医が判断し患者様、ご家族に提案させていただきます

急性期治療を終了した患者様の転入院(大腿骨骨折術後、脳卒中後リハビリ等)、自宅や施設からの直接入院(胸腰椎椎体骨折等)にも対応しますので、地域医療連携室へお問い合わせ、ご相談ください。



入院に対する留意点として、地域包括ケア病床では一般的な血液検査、レントゲン検査、投薬治療は可能ですが、一般病床で行なうような高額な医薬品の投与や特殊な検査・手術などには対応できません。

お問い合わせ、ご相談は、地域医療連携室(TEL 083-923-8817)まで。